

科目名		授業形態	担当教員名	
放射線物理学Ⅱ		講義	沼崎 穂高	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
放射線物理学Ⅰからの継続で、放射線と物質の相互作用を理解する。さらに実際の医療現場で使用する機器について放射線物理学を通じて理解する。				
授業の到達目標				
放射線と物質の相互作用を具体的に述べる。				
授業計画				
回	内容			
1	電子線と物質の相互作用（1）			
2	電子線と物質の相互作用（2）			
3	電子線と物質の相互作用（3）			
4	電磁放射線と物質の相互作用（1）			
5	電磁放射線と物質の相互作用（2）			
6	電磁放射線と物質の相互作用（3）			
7	電磁放射線と物質の相互作用（4）			
8	重荷電粒子線と物質の相互作用（1）			
9	重荷電粒子線と物質の相互作用（2）			
10	中性子線と物質の相互作用（1）			
11	中性子線と物質の相互作用（2）			
12	超音波（1）			
13	超音波（2）			
14	核磁気共鳴（1）			
15	核磁気共鳴（2）			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
放射線技術学シリーズ 放射線物理学	遠藤真広		オーム社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				